

令和6年度シラバス

教科	国語科	科目	言語文化	単位数	2
学年	1年生	コース	共通		
使用教科書	高等学校 言語文化（数研出版）				
副教材等	学ぶぞ古文と漢文（尚文出版）古文単語覚えるぞ 321（尚文出版）				

1 学習目標と評価の観点の趣旨

学習目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。														
評価の観点の趣旨と定期考査の配点基準	<table border="1"> <thead> <tr> <th>知識・技能</th> <th>思考・判断・表現</th> <th>主体的に学習に取り組む態度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>古典の世界に親しみ、古典を読むために必要な文語の決まりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。</td> <td>「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について理解している。</td> <td>言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、読書に親しみ自己を向上させ、言語文化の担い手としての自觉を持ち、言葉を通して他社や社会に関わる態度を身に付けようとしている。</td> </tr> <tr> <td>定期考査の配点基準（目安）</td> <td>定期考査の配点基準（目安）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>55%</td> <td>45%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	古典の世界に親しみ、古典を読むために必要な文語の決まりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。	「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について理解している。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、読書に親しみ自己を向上させ、言語文化の担い手としての自觉を持ち、言葉を通して他社や社会に関わる態度を身に付けようとしている。	定期考査の配点基準（目安）	定期考査の配点基準（目安）		55%	45%	
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度													
古典の世界に親しみ、古典を読むために必要な文語の決まりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。	「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について理解している。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、読書に親しみ自己を向上させ、言語文化の担い手としての自觉を持ち、言葉を通して他社や社会に関わる態度を身に付けようとしている。													
定期考査の配点基準（目安）	定期考査の配点基準（目安）														
55%	45%														

2 学習計画と評価方法

学 期	単元	主な学習活動	考査 範囲
1 学 期	言語文化と古文 古典の世界を楽しむ 言語文化と漢文	<ul style="list-style-type: none"> 歴史的仮名遣いなどの基本知識をおさえる。 現代語と意味の異なる語を中心いて古語をまとめる。 登場人物の心の動きや動作を追いかながら展開を整理する。 用言の活用を理解する。 返り点と送り仮名の決まりを理解する。 	中 間 考 査
	古文の世界を楽しむ 言語文化と近代史 読み継がれる歴史	<ul style="list-style-type: none"> 古文独特の風習について学習する。 助動詞の働きを理解する。 小説と評論の違いを考える。 春秋時代について、歴史的背景を確認する。 本文最後の言葉に込められた心情を考える。 	期 末 考 査
2 学 期	和歌による心の交流 漢詩のことば 記録する文学	<ul style="list-style-type: none"> 和歌の叙情性を際立させて「歌物語」を味わい、理解する。 漢詩の近体詩の形式を理解する。 近現代に書かれた戦争小説と軍記物語の違いを理解する。 	中 間 考 査

平安宮廷文学の世界 論語とその解釈 仮名日記文学の原点	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物のやり取りを読み取り、周りの人たちがどのように評価をしたのか読み取る。 生き方・人との関わり方に対する孔子の考えをまとめること。 日記文学について調べ、「土佐日記」についてまとめる。 	期 末 考 査
読み継がれる漢文 戦乱化の人間像 論説の文章 先人を思う旅	<ul style="list-style-type: none"> 作者や作品の時代背景を理解する。 文章の内容と特徴を理解する。 韓愈の文学的な活動について理解する。 句法を理解する。 句と文章が一体になった俳諧紀行文を味わい、理解する。 	学 年 末 考 査

各学期の観点別学習状況の評価の方法

知識・技能=定期考査およびワークプリント

思考・判断・表現=定期考査および発表、グループ活動、レポート作成

主体的に学習に取り組む態度=ノート、レポートの内容、授業時の発表・活動

学年末の評価

各学期の成績から算出して観点別学習状況評価と評定を出します。